

# 情報公開文書

|                                     |  |
|-------------------------------------|--|
| 研究の名称                               | 日本人の小児および若年成人における頭蓋変形の疫学調査   |
| 整理番号                                |  |
| 研究機関の名称                             | 富山大学附属病院   |
| 研究責任者<br>(所属・氏名)                    | 吉田 丈俊 (周産母子センター)   |
| 研究の概要                               | <p><b>【研究対象者】</b><br/>2020140年1月から20232年の12月までに0歳から39歳で頭部CT撮影し、スライス厚保-1mm以下のthin sliceデータがある小児および若年成人。</p> <p><b>【研究の目的・意義】</b><br/>わが国においても位置的頭蓋変形症に対してヘルメットを装着することにより頭のかたちを矯正する治療法が一般的になってきました。しかし、乳児の頭の形は自然に変形が改善する傾向もあるため、本当に位置的頭蓋変形症にヘルメット治療が必要であるか疑問視する意見もあります。そこで当院においてすでに頭部CT撮影された画像を抽出して、斜頭症や短頭症が実際の発症頻度を調べるのが今回の調査の目的です。</p> <p><b>【研究の方法】</b><br/>すでに当院で頭部CT撮影した画像を元に、斜頭・短頭症の<del>異</del>頻度を調べます。</p> <p><b>【研究期間】</b><br/>実施許可日 ~ 2027年3月31日</p> <p><b>【研究結果の公表の方法】</b><br/>周産期、小児科または脳神経外科に関連した学会、医学雑誌にて結果を発表します。</p> |
| 研究に用いる試料・情報の項目と利用方法<br>(他機関への提供の有無) | <p>研究に用いる情報には以下の項目を含めます。<br/>母体情報、家族歴、分娩方法、在胎週数、出生体重などの周産期情報、向き癖、斜頸や股関節脱臼の有無、家庭での対応、受診時の身体計測値、受診時および治療開始日齢、神経発達、頭蓋変形の種類、変形レベル、レントゲンおよびCT画像<br/>他機関への情報提供、試料の提供は行いません。</p>  |
| 研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名         | 富山大学附属病院 病院長 林 篤志  |
| 研究資料の開示                             | 研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。  |
| 試料・情報の管理責任者<br>(研究主機関における研究責任者氏名)   | 吉田丈俊   |
| 研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口            | <p>研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7313 FAX 076-434-5029<br/>担当者所属・氏名 富山大学周産母子センター 吉田 丈俊</p>   |